

中之島GATE整備事業

1. 整備の必要性等

■ 万博会場を起点とした水上交通ネットワークの構築
大阪・関西万博を契機とした「未来社会」の実現に向けて（大阪版万博A P）

海に囲まれた万博会場の立地の特性を活かし、万博会場と大阪市内、大阪湾の運航拠点をつなぐ

- ✓ 大阪市内…水都大阪・水の回廊
- ✓ 関空、泉州、兵庫エリア…ベイエリア
- ✓ 京都方面…淀川舟運

2025大阪・関西万博の想定来場者数2820万人
(万博のインパクトを活用)

万博来場者を市内の観光拠点に船で誘客し、水都大阪の魅力を全世界に発信することで、今後の大阪観光の目玉の一つとして成長

そのためには

- 川舟：波の影響を受け易いため海上での航行は危険
- 海船：水面からの高さで橋梁下を通過できない

海と川の結節点において川舟と海船を乗り換えできる
中之島GATEの整備が必要

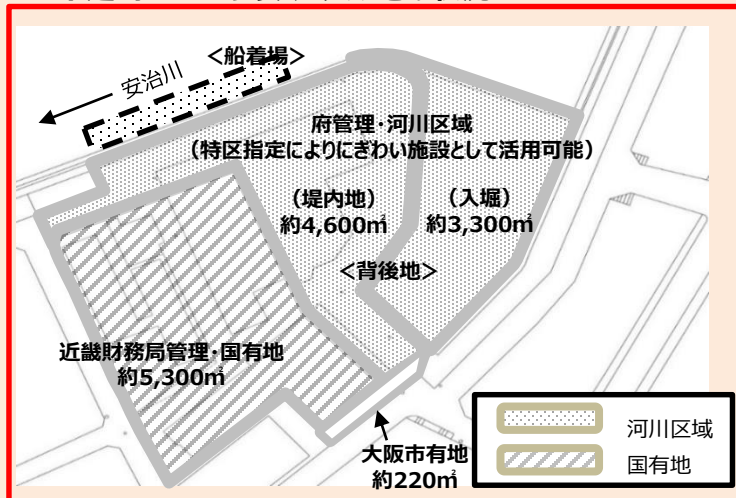
水都大阪の魅力発信・水上交通ネットワーク構築
ベイエリアの活性化・新たな観光ルートの創出



・船着場周辺の賑わい創出
・地域資源を活かした内陸部への周遊

出展：大阪・関西万博を契機とした未来社会」の実現に向けて（大阪版万博A P）

■ 中之島GATEサウスピア敷地の状況



2. 万博開幕に合わせた整備

(1) 万博までに整備すべき理由

- ◆ 万博インパクトを活用して水都大阪の魅力を国内外に発信
 - ・ 2025大阪・関西万博は、水都大阪の魅力を国内外に発信する絶好の機会。
 - ・ 万博の来場者に船から都心の水辺の風景を楽しんでもらうことで、水都大阪の魅力を国内外に発信、大阪の成長につなげようとするもの。
- ◆ 万博会場を起点とした水上交通ネットワークの構築に寄与
 - ・ 夢洲と大阪市内（水の回廊）がつながることで、水上交通ネットワークの構築やベイエリアの活性化に資する。
- ◆ 万博の機運醸成に寄与
 - ・ 中之島GATEの整備においては、万博の公式キャラクター「ミクミク」が「水の都」をイメージしていることを踏まえ、万博のPRも合わせて実施していく。
(例) 民間事業者の公募、民間事業者の決定、事業計画の公表、中之島GATEを想定した舟運の実証実験、開港など

(2) 施設の整備・管理運営について

- 水都大阪のにぎわいづくりや水上交通ネットワークの構築など、万博後も積極的な仕掛けづくりが必要
- 長期化するコロナ禍や物価高騰により、一時的に民間の投資意欲が減退

(参考) 民間事業者の意向 (船着場にかかる事業者ヒアリング)

- ・ 自社で整備するのは難しい。補助金があっても難しい。
- ・ 船着場やマリーナへの投資が大きいのがネック。

船着場については万博開幕までに府が整備(府民文化部所管)

(整備費 約5.39億円 (設計0.35億円・工事4.8億円・塗替え0.24億円))

→設計0.35億円については、9月議会(後半)補正(債務負担行為)

※乗換ターミナル・にぎわい施設等の機能を有する中之島GATEの事業者公募を予定

府が乗換ターミナル機能を有する公設船着場を整備し、民間事業者がにぎわい施設等とともに一体的な管理・運営を行い、海と川の結節点として、万博開催時のもとより万博後も水都大阪の魅力を発信するなど、大阪の成長に寄与していく

【今後のスケジュール】

- R4 事業者公募 (にぎわい施設の整備・運営、船着場の運営等) ⇒速やか(年内)に実施
- R4~R5 船着場整備設計業務 ⇒ 予算案議決後、速やかに設計業務の発注
- R5~R6 船着場、にぎわい施設整備工事
- R7 春 船着場、にぎわい施設開業